

皮膚科

「皮膚は心の鏡、皮膚は内臓の鏡」をモットーに、診療、研究、教育に取り組んでいます。

● 診療科の紹介 ●

皮膚は人体最大の臓器です。皮膚科は、皮膚を舞台とした様々な疾患、すなわち感染、アレルギー、炎症、癌などを対象とする間口の広い診療科です。皮膚疾患の多くは、診断から治療を皮膚科で自己完結できるため、1つ1つの症例にじっくりと向き合えることが魅力です。また、皮膚は内臓や心の異常を症状として反映する、「内臓の鏡」、「心の鏡」でもあります。当科は、皮膚に潜む内臓や心の疾患にも注意を払い、全人的な診療を提供しています。

● 専門研修プログラムの特徴 ●

香川大学医学部、日本専門医機構が定める研修プログラムに則り、研修を行います。初期研修では、可能な限り皮膚科で研修し、現場の雰囲気や肌で感じてもらえれば幸いです。専門医研修では、当科に入局の上、外来や入院診療に従事します。ありふれた疾患のプライマリケアの他、市中病院では困難な最先端の検査、治療を行います。当科には、高度な専門資格を持った先輩医師がおり、困った時に迅速なアドバイスを得られます。研修期間での幅広く、困難な症例の経験は、その後の医師としての人生に必ずプラスになります。その他、当院形成外科(手術手技)、高松赤十字病院などの関連市中病院、地域医療での研修も可能ですので、ご相談ください。

● 研修に関する行事 ●

外来は月、火、木、金の午前です。午後は病棟業務または外勤です。水曜は手術日です。通常業務は17時15分に終了し、以後はフリーです。夜間の病院当直はなく、オンコール体制=宅直です。外勤は週1~2回で、地域の病院で外来業務を行います。毎週木曜には、教授回診、臨床・病理カンファレンスで、症例の治療方針や問題点について議論します。年2回の地方会のほか、内外での学会発表や論文作成の指導を行います。研究面では、大学院および大学院社会人枠で、基礎教室と連携し、学位取得、その後の留学までを手厚くサポートします。臨床研究も積極的に行っています。また、当科には子育て中の医師も在籍しています。育児をしながらキャリアを形成できる体制を取っていますので、安心して入局してください。

● 取得できる専門医資格および技能 ●

所定の研修(最短5年)の最終年度に、日本専門医機構認定皮膚科専門医試験を受験できます。その後、さらに高度な専門資格を取得することが可能です。



■ 組織カンファレンス



■ 手術風景